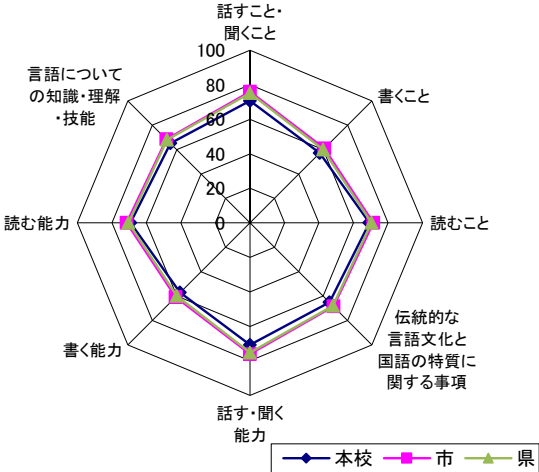


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	70.7	76.0	75.2
	書くこと	57.2	60.9	59.9
	読むこと	69.2	71.4	70.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.2	68.5	68.0
観点	話す・聞く能力	70.7	76.0	75.2
	書く能力	57.2	60.9	59.9
	読む能力	69.2	71.4	70.4
	言語についての知識・理解・技能	65.2	68.5	68.0



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●話すこと・聞くことについての正答率が県の平均を4.5ポイント下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・普段の授業の中でも自分の意見を整理して発言することや、相手が伝えたいことをきちんと理解できるようにしていく必要がある。また、今後も聞き取りテストの実施を継続して行い、話の要点や要旨を的確に把握できるように指導していきたい。
書くこと	●書くことについての正答率は、県の平均を2.7ポイント下回っている。記述問題や作文力の正答率が低い。	・様々な表現技法や文章表現力などの基礎的な学力を身に付けさせた上で、与えられた課題について、どのように自分の考えをまとめて書いていけばよいかなど、授業や作文指導等の中で継続的に教えていくことを大切にしたい。
読むこと	●読むことについての正答率は、県の平均を1.2ポイント下回っている。 ○文学的文章の読解については正答率が70%を越えている。	・文学的文章の内容理解については、登場人物の心情を的確に読み取りながら、その作品が伝えたいことを把握できるよう継続的に教えていきたい。また、説明的文章の内容理解にあたっては、主題と要点を理解し、筆者の考えを読み取ることができるように指導していきたい。そのためには、多くの説明的文章に触れさせ、様々な考え方やものの捉え方があることに気づかせていきたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●言語についての知識、理解、技能については、県の平均を2.8ポイント下回っている。	・漢字の読み書きに関しては、定期的に漢字テストを行い、基礎的な力を養うことが不可欠である。また、普段の生活においても、漢字を意識的に使うよう指導し、読みと書きのバランスの取れた力を育てていきたい。文法問題に関しては、単語や文節、品詞の区別など基本的な理解が不十分である。これからも継続的な学習、指導をしていきたい。